

はじめに

益田市では、平成 21 年 12 月に「益田市食育推進計画」、平成 26 年 3 月に「第 2 次益田市食育推進計画」を策定し、生涯にわたる人々や自然とのつながりの中で「食」を知り、感じ、育む～「おいしい益田」で心をつなぐ～を基本理念とし、さまざまな取組を行ってまいりました。

小中学校での「早寝早起き朝ごはん運動」や「お弁当の日」の取組、保育所や認定こども園、幼稚園での農業体験や行事食体験の取組をはじめ、子どもたち自らが実践する食育活動が継続して行われるようになりました。また、地域においても公民館や健康づくりの会を中心に子どもから高齢者までを対象として健康教室や調理実習などの取組が行われ、様々な世代を巻き込んで広がりのある食育活動に繋げることができました。しかし一方では、20 代や 30 代の若い世代を中心に朝食の欠食や食育への関心の低さなど引き続き取り組んでいかなければならない課題もあります。

こうした状況を踏まえ、今までの重点項目に新たに「食を通したコミュニケーション」を加え、食の楽しさや食事のマナー、感謝の気持ちを育む「共食」を進めるとともに、地域での食育活動を通じて地域の食文化や農林水産物に理解を深め、さらに食育を推進していくことをめざして、第 3 次益田市食育推進計画を策定いたしました。

また、平成 29 年 12 月に「ますだ食と農の市民条例」が制定され、その条例に基づき「ますだ食と農の基本計画」の策定が進められています。本計画と連携を図りながら、農林漁業体験や地産地消を通して生産者と消費者が互いに理解を深めることで、食育を推進していきます。

生涯を通じて心身ともに健やかに生活するために「食」は欠かせないものであり、長い期間をかけて風土や風習に生まれ、人から人へと受け継がれてきました。今後も、様々な機会を捉え、あらゆる世代へ切れ目なく働きかけながら、食育の取組を進めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたりご尽力いただきました益田市食育推進会議委員の皆さまをはじめ、貴重なご意見をいただきました関係機関や団体、市民の皆さまに心から感謝申し上げます。

平成 31 年 3 月

益田市長 **山本 浩章**